

平成 30 年度 保育園・学校課題検討委員会 (第 10 回) 会議録 (概要)

1 開催日時 平成 30 年 10 月 30 日 (火) 午後 6 : 30 ~ 8 : 00

2 場 所 飯山市役所 4 階 全員協議会室

3 会議の経過及び発言

1 開 会

2 教育長挨拶

みなさん、こんばんは。

日が短くなり暗い中、お忙しい中を、ご出席ありがとうございます。

この会議も第 10 回目となりまして、本日、具体的な内容の叩き台を用意しましたので、それを基に皆様のご意見をお聞きし進めてまいりたいと思います。

保育園・幼稚園につきましては、私立で中央幼稚園・めぐみ保育園ございますが、今後話題に乗せざる場面も出てくるかと存じますが、現段階では公立保育園という事で、ご理解いただきたいと思います。本日も、よろしくお願いいたします。

3 委員長挨拶

皆様、こんばんは。一日のお仕事の後、お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。今、教育長の挨拶にもありましたように、この会議も第 10 回目となっております。本日は、これまでに聞かせていただいた委員の皆さまのご意見を踏まえて、事務局で用意した叩き台を基に、答申に向け審議を進めて参りたいと存じます。

皆さま方のご協力をお願いいたします。

4 会議事項

(1) 信濃小中学校視察報告について

(委員長)

信濃町立小中学校の視察をご参加された委員から、ご意見お聞かせいただければと存じますがいかがでしょうか。当日は文化祭という事もあつて、父兄の皆さまが大勢見学に来られており、非常に熱気が感じられて感動しましたが、どうでしょうか。

(A委員)

広い校舎というのが第一印象でした。1階から3階まであり、職員室は職員室として設けられているが、3階にティーチャーズステーションという場所が、壁やドアなどないオープンな状態で設けられており、生徒が自由に出入りし先生と交流できる環境がよいなと思いました。また、1階入口付近には講堂のような場所があり、地域住民の交流スペースにもなっていて、おもしろい施設だと感じました。

小学校から中学校にあがる学年にあたる、6年生から7年生への切り替わりが気になり、教頭先生に尋ねてみたところ、6年生のときに卒業式に代わる前期課程修了式を設け、7年生からは制服着用することで高等部の生徒となる自覚をもたせる工夫をしていると説明を受けました。

(B委員)

個人的には1年生から9年生まで年齢が離れすぎていて、客観的にみると子どもと大人が同居しているような、若干の違和感がありました。自治体が小さくなってくると、運営上、そうしたことも考えられるのかなと感じました。

(C委員)

建物が新しく大きな校舎、大学の講義を受けるような地域交流スペースといった設備に感心しました。合唱祭も地域や保護者の方が大勢みえていて生徒が張り切っている様子・意欲を感じました。

(D委員)

今までの意見にもあったように、本来、学校にはないであろう設備も備わっていて、入学前のお子さんを連れのお母さんが、絵本の場所を利用されているような、学校としてだけでなく、町としてどのように利用していくかというような設備が整えられているように感じました。

児童・生徒の学習の場でもありますが、小学校入学前の子どもたちも利用できる、そして地域の方も一緒に学んだり活動できたりという場になっていて、町として、どのように地域と絡めて運用・運営していくかまで考えて作られた施設なのだろうと感じました。

B委員の話にもありましたが、児童と生徒が一緒にいたので小中合同による行事等におけるメリット・デメリットがありますが、お互い歩み寄りの中で、子どもたちに何の力をつけるかを考えると、答えは自ずと出てくるのかと思いました。

(委員長)

よろしいでしょうか。それでは次に進みたいと思います。

(2) 課題整理の方向について

(事務局説明)

(3) 学校統合等のシミュレーション(案)について

(事務局説明)

(委員長)

学校の将来的なシミュレーションを数値推計しながら出していただきました。これらの資料を参考に、委員の皆様には、最初の課題整理シートなどを参考に、近い将来、こうした飯山市の教育環境にしていかなければというようなことを答申するための自由なご意見を頂戴できればと思います。

(E委員)

本日の資料や今までの資料等を参考にしても、私自身、判断がつかない。

子どもの数自体は下げ止まりなく減少している中で、何らかの方針を出さなければいけない。教育的な見地から、どのレベルがふさわしいのかというのが決めかね、わかりかねています。国が示す2学級以上が現実的には飯山以外には、やっていないわけですし、現状。そのなかで切磋琢磨していけるだけのクラス・人数が教育的に義務教育が滞りなく進めていけるものなのか、わからない。複式学級が良いかというのを首をかしげる。中学において部活動が活発化している現状の中では、それを維持していくにはどのくらいの規模がよいのかと見極めがつかない。具体的な数字としての意見は申し上げにくい。

地域の立場として申し上げるならば、現在、学校というのは地域の交流拠点としていくことが事実で、それをなくしていくという事であれば、地域課題は大きい。いずれかの時点でクリアしていかなければいけないだろうけれど、そうした面で地域合意が得られるのかということで非常に難しいのかと感じる。

ただ示さないと進まないが、喫緊で何年がよいのか、どのように示していくのか、意見としては言えない。教育的に子どもたちの学習能力の維持を専門的な人から教えてもらいたいと思います。

(委員長)

具体的な話になってきますと、専門的な数も出てきて難しいところもありますね。

F委員、いかがでしょうか。

(F委員)

以前から申し上げていますように、単なる数合わせではなく、飯山の子どもたちにどんな教育をするのかということが一番大事に考えてほしいと思います。

シミュレーションにでてきている小中一貫カリキュラムが何を考えているのかがわか

らない。

信濃町立は一体型ですが、例えば野沢温泉村や木島平村も場所が違うので一体型ではないけれど小学校、中学校が1校ずつで、1年生から4年生までを一つの区切り、それから小学校5年生から中学1年までを一つの区切りとして、中学2～3年生を一つの区切りとして運営しているわけですが、飯山は、シミュレーションを見てもイメージというかそのあたりが見えてこない。

小中一貫カリキュラムを作ったところで、飯山南部の秋津小・飯山小・木島小が3つ残っている中で、地域性もありますし市全体足並み揃えていけるのか疑問に思います。

それでも一校になったとして、小中一体型カリキュラムということで一貫校ではなく、カリキュラムを整えていくのかと思います。どういった内容で、どういう子どもたちを育てていきたいのか、将来どのようなようになってほしいのか、そこがはっきりしていないと、通わせたいと思われるような学校にはならず、地域合意も得られにくいのではないかと思いますので、その点を大事にしていきたいと思います。

(委員長)

子どもたちの教育環境を近い将来に可能な限り好ましい環境に整えるということにつきまして、皆様のご意見をお聞きしておりますと、一致しているようには感じております。G委員も何度かそのようなご意見をおっしゃっておられましたけれども、シミュレーションはこれでいくということではなく、叩き台ですので、皆様に叩いていただいて、答申に向けて作成していきたいと思います。

(G委員)

F委員、E委員のご意見もその通りだと思いますが、やはり私は数が全てではないですけれども、最低「この数だけは」と言いますか、やはり人数があまりに少ないと切磋琢磨できないと思っております。

ただ、小中一貫カリキュラムについては、あまり好まないのですが。

それから2018～2023年までの城北校区の小学校についてですけれども、2023年には、この4つの学校が1校になるという事ですか。たとえばこの5年の間にどのようなプロセスで進めてくのだろうかという事は非常に気になります。

第一段階、第二段階というようなことがシミュレーションに入っているのかどうか。それとも5年後にどっとまとめるということになるのかどうか。

(事務局)

新設になるのか、既存の学校を整備するのかというところは申し上げられませんが、基本的には整備して1つの学校にするという。

(G委員)

というのは、前々回の資料で1学年に9名という学校があるのをみて「塾じゃないんだよな」と感じたのを覚えております。一人の教師が9名相手に念入りに教えてくださって優秀な子は育つかもしれないけれど社会性は養えないのではないか、数の問題ではないとは思いますが、9名学級を5年間継続してよいのかというところが、ひっかかるところでございます。

(C委員)

課題検討委員会は「望ましい教育環境とするにはどうするか」ということで集められたと思っていて、エアコンとか通学方法の検討だと思っていたのですが、いずれにしても統合不可避であるという事を結論にして答申するという事で、シミュレーション内容については新しい組織を入れて、クラス数や人数の望ましい数は新たな組織で統合について徹底的に議論していただいて結論に向けていただければよいのではないかと、今後の方向性について申し上げさせていただきました。

(委員長)

保護者の立場からいかがですか。

(A委員)

単純に学校数が減ると学校代表の会長数が減って負担が大きくなるかな、と正直感じます。

(委員長)

お立場上、申し上げづらいという事ですか。

(A委員)

立場上、代表してきておりますが、学校が減ってきたときに、子どもの数ではないですが、意見もできないというか、今は役員9人仲良くさせていただいておりますが、考え方も異なりますので討論できますが、人数が減っていくと討論する相手もなくワンマンになっていくのがPTAの集まりとしては望ましいのかどうか。

(委員長)

悠長なことは言っていられないことは確かで、子どもたちが現実には割り食ってしまうので。まあ、環境を整備していくという事になりますと、こうした手続き的なシミュレーションを考えていくということですね。

(H委員)

4月の会議資料で学校が小規模化に伴って生じるデメリットということで、デメリットが生じないようにどの学校も取り組んでいるのではないかと考えておりますが、ある程度の人数がいた方が良いというのはデメリット克服に必要なことという事も理解できます。

ただ、学校というところがE委員の意見にもありましたように地域の拠点という部分もありますので、地域理解を得るには、地域に認められる学校づくりが見えないと。泉台小学校も東小学校も戸狩小学校も小規模化をどうにかしなければという部分で生まれた統合小学校ですが、当時の考えうる範囲での学校づくりが行われているので、通学範囲も広がる中での学校づくりとは、どういうことだろうかと思っております。

(I委員)

難しいことですが、シミュレーションを出していただきましたが、内容が良いとか悪いとかではなく、早めに見せていただいて、みんなで見通しがもてるのが良いのではないかと思います。

保育園については未満児入所が増えているが、環境面で施設が追いついていない。

統合して新設していただいて、未満児保育の環境・設備面を整備していただけるとありがたいと思います。

(J委員)

城北校区内の保育園にいるが新設はありがたい。シミュレーションではあるが、5年後というところである。具体的に場所など考えているのであればお聞きしたい。

通園する保護者負担を考えると駐車場整備とか、通園バスとかの支援が必要になる。保育園位置が早めに示されると良いと思う。

(K委員)

シミュレーションの中で小学校統合に合わせての保育園統合という事で、2023年度ごろには城北校区内の保育園が示されていますが、その前に、あきは保育園としろやま保育園の2021年度統合があり、あきは保育園とすると、保護者は今の時期とても非常に不安を抱えている時期でもありますので、シミュレーションを見ると城北保育園の早い新設となっておりますので、適切な時期を早めに示していただいた方がよいかなと思います。

(L委員)

最終的に小中一貫校が考えられているのだなと思いましたが、信濃町の面積に対しての1校と、飯山市の面積に対しての1校を考えた時に、登下校の送迎はどうなるのだろうかという単純な疑問に思いました。

学校数が減れば、それに係る経費が減るので、市の財政的負担というのは減っていくと思いますが、学校から遠い地域の保護者は送迎しなければいけないとなると、各家庭に負担が回るようになるのではないかと思います。

そうすると、保護者が仕事をしながら、子どもの送迎をしながらの生活が送れるのか、というところまで話が及ぶのではないかと思います。

そうしたときに、飯山という土地を選択するのかというと、皆さんがおっしゃるように、子どものことを考えてあげなきゃいけないのはわかるんですが、生きていく上では、親が働かなければいけない、暮らしていかなければいけない。最終的に何かを切らなければいけないとなったときには、申し訳ないけど子どもの方を切ると思う。

そうすると居住先として飯山を選択するだろうか、疑問に思いました。

小中一貫カリキュラムというのが、単純に小学校、中学校の合体ということではなくて、9年間のなかで飛び級のようなシステムができていう学校をテレビで見たことがあるのですが、飯山が、そのような先進的な教育をしているというのがあれば、それも宣伝になって人も集まっていいと思いますが、このシミュレーションだと、ただただ人数が少ないから1校にします、というマイナスイメージしか感じられず暗い気持ちになりました。

(M委員)

3人目の子どもが保育園の年少さんの一つ下にいます。お母さんたちのことを思うと、先ほど園長先生がおっしゃっていたように、送迎が気になります。

学校も小さな子から大きな子まで一緒にいるとなると、えげつないイジメもあつたら怖いと思います。小さな女の子が大丈夫なのか。飯山小学校も来年度の1年生が1学級になると聞くと、2学級の学年とどのくらい違ってくるのだろうかと思います。子どもが小学校入学した際には、不安もありますが保護者会の役員に立候補しようと思っています。やっぱ送迎とか、えげつないイジメとか大丈夫だっていう事例をだしてもらえると、安心して統合を迎えていけるとと思います。

(N委員)

C委員がおっしゃっていたように、細かいことはわかりかねます。

数字だけ見るとやむなしという、L委員がおっしゃっていたように減るしかないのかというさみしい気持ちもあります。児童生徒が増えるような取り組みについて、今も考えていただいているのですが、そうしたものも欲しいなあと思います。

統合は、元気な子や、できる子は、人数が増えたりクラスが増えたりすることは、刺激になってよいことだとは思いますが、少数派であるかもしれないけれど、小人数があっている子もいると思いますので、多数派としては統合すべきと思いますが、クラス編成などでの配慮をしっかりといただきたいな、という思いはあります。

(O委員)

たたき台資料を見ると、2018年度の城北中 225 人、城北校区小学校 332 人、信濃小中学校 500 人と、似たりよったりなので、いずれこうした方向に行くのは仕方ないと思います。10 年ほど前に戸狩小 PTA 会長をやったときは生徒数が 230 人いたのに、今は半分ほどの 121 人になってしまっている。飯山小のような大きな学校は、まだよいかもしれないが、城北校区の小学校は、2023 年度の統合、スクールバスなどの課題はあるかと思いますが、ここは確実にやった方が良く私は思います。

(委員長)

両極端のご意見がありまして、さみしく感じるというご意見もありましたが、城北校区については子供たちの事を考えれば、やむなしという事です。

(B委員)

シミュレーションは、これはこれで理解できるものですが、最終答申で、ここまで踏みこむのは拙速ではないかと思います。100 人を切ったら統合していくというようなマイナスイメージが付きやすい。前も話したと思うが、理想的な教育環境というものがあるのだから、それにむかって、飯山市の学校の在り方はこうしたいという一つでよいのだと思います。

それから、先ほど F 委員がおっしゃられましたが、どのような教育をするのかを前面に出していただかないと、飯山市は人口が減っていて、この先どうなるのか不安になってしまう。理想的な教育を掲げて、そうした教育を進める市だからとアピールして若い保護者が子育てしてみたいと思われるようなアピールになればいい。

そうした教育環境のために、こうした学校があつてというような。

例でいうなら、象徴的なことを言った方がいいと思います。

たとえば給食費無料にして食育や食事マナーを大事にしていくとか、英語をしっかりとやるとか。そうした環境なら、そこで子育てしたいと保護者が思えるようなアナウンスができる答申にしていきたいと思います。

(委員長)

様々な意見を出していただきましたが、たたき台ですので、さらに叩いていただいて、飯山で子育てしたくなるような答申を出せたらと思います。

(P委員)

保護者を含めて地域の方は、児童生徒数を考えると統合はいずれ仕方ないとは思っていると思いますが、本題は統合が「いつ」「どこ」なのかだと思います。

泉台小・常盤小・戸狩小・東小の統合は通学距離の問題もありますが、場所の選定が

問題だと思います。泉台小においては富倉も柳原も外様もあります。

(仮称)飯山中学校を2033年頃となっておりますが、(仮称)城南小学校・城北小学校からの入学を考えると、2028年度に前倒しするのが良いのではないかと考えております。

そして2023年ごろという5年後の構想を、いつ、どこで飯山市として正式に決めた構想を、どのように周知していくのか、それが問題だと思います。

飯山中学校がどこになるのかによって、城北小学校や城南小学校の場所がどこになるのかが決まってくるのではないかと。いつ、どこに通うようになるのか。

来年1年生になる親、6年後に1年生になる子の親は、どこへいくのだろうかと不安だと思う。小学校で統合を経験した子が、中学校で再び統合が、子どもたちにとってどうなのかという懸念があります。

(委員長)

皆さまから感想・ご意見をお聞きできましたので事務局含め検討いただき、次回、また皆さんにお諮りしたいと思います。

(事務局)

今後の行程を示さなければと思っております。

次回については、答申原案のたたき台をお示しできたらと思っております。

答申については、B委員から図式についてご意見頂戴しましたが、今回はわかりやすくするため図式に示したもので、答申は当然言葉だけでありますので、その中で盛り込んでいきたいと思っております。事務局で答申案のたたき台を作っていきたいと思っております。多くの委員さんから、ざっくり「統合の方向へ」だけの答申でよいのではないかと意見もありましたが、ある程度のものをお示し、付け加えていただくなり削ぎ落していきたいと思っております。文章表現としての答申原案のたたき台を検討いただければと思います。

5 その他

第11回検討委員会について、日程等詳細は改めて通知することとし、閉会。